

# ご存じですか？身近な資源化の拠点

## もうすぐ 開館一周年 リサイクルプラザ

ごみの資源化・減量化の重要性が叫ばれている中、市民のみならずが身近にリサイクルを体験していただくことを目的の一つに掲げたリサイクルプラザが去年の10月1日にオープンしました。オープン以来多くの来場者でにぎわい、利用されたリサイクルプラザをより一層活用し、そしてより多くのみなさんに知っていただくため、もうすぐ一周年を迎えるリサイクルプラザを、ボランティアスタッフの声を交えてご紹介します。

### 多目的に活用できます

リサイクルプラザは、増加傾向にある資源物の処理をより効率的に行い、市民のみならず資源の有効利用についての理解を深めてもらうことを目的として建設されました。

この施設は、従来から利用されていた資源選別場の敷地を活用して建設され、敷地内には市民のリサイクルに関する学習等



### 展示ホール

家庭から粗大ごみとして出された家具等に簡単な補修を施してから展示し、希望者には廉価で販売します。定期的に購入希望者を募り、希望者多数の場合は抽選で決定します(小物や衣類は随時販売)。代金納入後に品物を引き渡します。



### 不用品情報コーナー

家庭で不用になった譲りたい品物や、譲ってほしい品物などの情報を掲示板を使って交換するコーナーです。



### 研修室

リサイクルに関する学習の場として個人やグループが利用できます。利用の際は所定の申請書を提出してください。手続きは、利用日の3カ月前から受け付けます。休館日を除き毎日利用可能で、利用時間帯は1日または、午前・午後のいずれかになります。



### 修理工房

家庭から粗大ごみとして出された家具類を修理する部屋です。また、自宅にある壊れた日用品などを持ち込んで、自分でプラザ備え付けの工具を使って修理することもできます。

利用の際は窓口にお申し出ください。土・日のみ利用可能です。

### 図書コーナー



リサイクルに関する図書や資料、雑誌などが閲覧できるコーナーです。※貸し出しは行っていません。

### 環境への配慮

- リサイクルプラザには環境への負担を軽減する工夫がされています。
- ◎太陽光の活用  
駐車場に太陽光発電方式の照明灯を設置しています。
- ◎雨水の利用  
雨水を防火用として貯水し、普段はトイレの用排水として利用しています。
- ◎再生品の利用  
ガラス片を再生利用して作られたタイルやフロックを施設内で利用しています。
- ◎再生ブロックの利用  
駐車場に浸透性の高い再生フロックを敷き、雨水を地下に浸透させることにより下水道への負担を軽減しています。

## プラザを支える ボランティアスタッフ

リサイクルプラザでは、現在8人のボランティアが運営に参加しています。その中の一人、澤田宏さん(61歳)は、今現在住居にお話を伺いました。

「ボランティアメンバーになろうと思ったきっかけは、『定年退職したのを機会に市が行ういろいろなモニターに参加しました。最も身近に行政に携わるには生活に密着したごみ問題から、という意識で応募しました。勤め先でISO取得のリーダーをしていたことも動機の一つです。』

「ボランティアの方はどのような活動をしているのですか。『リサイクルプラザで行う様々な活動をはじめ、今後どんな企画を行うかや、PR、企業との連携、さらには、ボランティアという広報紙を製作したりするなどの活動です。また、来館していただいた方からのリサイクルに関するご相談も受けています。今後も来館者の増加にがんばっていきなりたいと思います(表1参照)』

「海老名市のリサイクルの現状についてお聞きしますか。『リサイクルは、もっと進めたいとお考えですか。』

「これまでに再生品を再利用していただく機会や、庭木の手入れ講習会などを行ってきまして、来月には一周年企画として子ども用品のフリーマーケット開催や、市のホームページにリサイクルプラザのページを開発します。みなさんの関心を引きよせ、来館した方が楽しみながらリサイクルについて学べるような企画を考えていきたいと思っています。また、粗大ごみで出された家具等の再生率はすでに20%を超えています(表2参照)。もっと再生率を上げたいですね。」

「市民のみならず、企業や、リサイクルに興味のある方、ボランティアメンバーに参加していただきたい。多くの方の参加で、より充実したリサイクルプラザになると思います。海老名市、いえ地球の環境のために一緒にがんばっていきましょう。」



再生家具の抽選会を行うボランティアメンバー(左から2人目が澤田氏)

### 10月6日プラザでフリーマーケット 今日から出店者募集開始

リサイクルプラザ開館一周年記念イベントとして子ども用品限定フリーマーケットを開催します。子どもも成長は早いという間、着られなくなった服や遊ばなくなったおもちゃや部屋を片づけて、なんてことになっていませんか。家の中にある使わなくなった子ども用品を今すぐ再利用し、限りある資源を有効にリサイクルするため、奮ってご参加ください。

▽日時 10月6日(日)  
▽場所 リサイクルプラザ 展示室  
▽出店料 無料  
▽出店募集数 30店(1店舗2畳程度)※1は各自ご用意ください  
▽出店募集期間 先着順で9月1日(日)から受付開始(募集数に達した時点で締切)  
▽出店条件 市内在住・在勤の方

▽その他 商売の方、副業でいらっしゃる方はご遠慮ください。飲食物、生き物、生ものは取り扱いません。  
▽直接リサイクルプラザまで

### プラザ運営のスタッフ 募集しています

◎ボランティア募集  
リサイクルプラザの企画・運営への参画、各種事業の立案、実施などに意欲的に参加してくれるボランティアを募集しています。20歳以上の市民であれば経験等は問いません。無報酬です。

登録を希望される方はリサイクルプラザに設置してある所定の申請書で申し込んでください。随時受け付けをしています。

◎講師募集 - 生かしてみませんか!  
あなたの技術と経験  
リサイクルに関する研究会やリフォーム教室をこれからも積極的に開催していきます。これら各事業の講師をお願いできる技術や経験をお持ちの方のご連絡をお待ちしています。また、お知り合いにお心当たりのある方もぜひご紹介ください。

### なくそうっ不法投棄

### 生ごみ処理器購入費を補助します

市では、生ごみの減量化の一環として電動式生ごみ処理器・堆肥式生ごみ処理器(コンポスト・EM容器)を購入される方へ、購入費用の一部を補助しています。

補助台数に限りがありますが、購入希望や質問のある方は、資源対策課までご連絡ください。

※申し込み前に処理器を購入された場合は、補助を受けることが出来ませんのでご注意ください。

申請 同課内546。

#### ●補助の内容・申込方法

○電動式生ごみ処理器(ディスポーザーは除く)	
対象	市内に住所があり、居住している人で、処理器を維持管理できる人 海老名市市税条例による市税および清掃手数料を滞納していない人
補助台数	1世帯1台
補助額	購入価格の2分の1以内(100円未満切り捨て)で、30,000円を限度
受付台数	190台
○堆肥式生ごみ処理器(コンポスト・EM容器)	
対象	市内に住所があり、居住している人で、処理器を維持管理できる人 海老名市市税条例による市税および清掃手数料を滞納していない人
補助台数	1世帯2台
補助額	購入価格の3分の2以内(100円未満切り捨て)で、3,000円を限度
受付台数	50台

近年、不法投棄が増加傾向にあり、その方法も巧妙で悪質なものになってきています。不法投棄が多発する場所としては、相模川等の河川敷やごみ集積所、また、人通りが少ない道路などがあげられます。その対策として、市でもパトロールの実施や注意看板の設置をはじめ、自治会や郵便局、タクシース会社と連携を取り、不法投棄等を見つけた場合に、市へ通報してもらおうとしています。しかしながら、不法投棄は後を絶たないのが実情です。

また、家電リサイクル法施行後は、法で指定されているテレビや洗濯機などの不法投棄も増加しています。不法投棄者を見つけた場合には、海老名市警察署または資源対策課までご連絡ください。市民のみならずのご協力をお願いします。※投棄車両ナンバー等もわかれば、併せて通報してください。

海老名市警察署 ☎232-0110、資源対策課内546。

**問い合わせ**  
海老名市リサイクルプラザ  
〒243-0411  
大谷5096 ☎237-3196

**休館日**  
毎週火曜日  
※祝日の場合は閉館し、翌日を休館とします。その他、年末年始や施設の保守点検等の際は臨時休館します。

**開館時間**  
午前9時30分～午後5時



### 案内図

